

<対策のポイント>

我が国の食品製造業における中小企業の割合は99%であり、**食品製造業は他の製造業と比べて労働生産性が低い状況にあるため**、輸出向け加工食品について、**新商品の開発・PR等や地域の食品製造業の輸出への積極的な取組の支援**とともに、**生産性向上等に必要な機械の改良・開発**や、**コロナ禍であってもIoT等により生産を維持できる機械の導入**等を支援します。

<事業目標>

農林水産物・食品の輸出額拡大（2兆円 [2025年まで]、5兆円 [2030年まで]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 加工食品の国際競争力強化のための開発・PR等

876百万円

輸出向け商品の開発・PR・実証試験等に必要取組を支援します。

<支援対象の取組>

- ・高付加価値食品・レシピの開発、伝統的技術等を活用した加工食品のPR
- ・輸出先国が求める商品特性等を考慮した商品の**実証試験**
- ・大手ECサイトへの**売り込み**や**実店舗との連携**

2. 食品製造業の生産性向上に必要な新技術導入・機器整備

239百万円

地域の中小食品製造業が国際競争力の強化や生産性向上に資する**効率化・省人化のための機器整備**を支援します。

<支援対象の取組>

- ・ロボットアーム導入による**自動化**
- ・製造工程のオンライン化による**省人化**
- ・AI原料検査システム導入による**生産性向上**
- ・狭小エリアにおける設備導入による**生産性向上**

<事業の流れ>



1. 新商品の開発・PR等



伝統技術の活用



試験販売



ECとのマッチング支援

2. 生産性向上に必要な新技術導入・機器整備



容器詰め工程の自動化



オンライン化による省人化



AI原料検査システムによる生産性向上